

生活の拠点となった仙台市内のホテルは、電気・ガス・水道が整っていましたが、食事は外食です。仙台市内は節電のため、夜はメイン通りでも薄暗く、食事をするにも、休んでいる店や、限定メニューの店が多く、閉店時間も早めになっていました。コンビニは仕入れが困難なのか多くの物が品切れになっていました。

## 調査

地震により被害を受けた地域のマンホールを調査することになり、1次調査としてマンホールを開け、中の様子をチェックし、記録写真を撮影していきます。災害支援で来ているとわかると、町の人から「ありがとうございます。」とお礼の言葉をいただき、元気が出ました。

作業中にも何度か震度4程度の余震が来るので、気が抜けません。

調査中は、毎日、岩沼市と仙台市とを往復しましたが、その間にも仮設住宅の建設が進められ、コンビニが通常営業に戻り、ガスも復旧していきましました。

どんどん復興が進められていく様子を見て、自分達もがんばろうと、ひたすらマンホールを開け続けました。

## 結果

4月1日から5日までの間で、苦小

牧市単体では、184箇所のマンホールを調査し、90箇所において異常が見られました。北海道全体では、886箇所を調査し、208箇所が異常マンホールでした。滞水しているマンホールが多く、地震の影響で下水道管が壊れていることが予想されます。岩沼市に調査報告を行い、災害支援を無事終えました。



調査の様子

## 処理場

北海道に帰る前に、岩沼市にある県南浄化センターに立ち寄りしました。浄化センターは海沿いにあり、津波の被害が甚大で、下水の処理は簡易的な処理で対応していました。下水処理施設は、排水の関係上、海沿いに造られることが多く、苦小牧市においても例外ではありません。津波に対して処理場をどのように防災すべきかということが、今後の課題になると思われました。



壊滅状態の県南浄化センター

## おわりに

岩沼市の下水道施設は、復旧には2年以上かかる見通しとなっています。がんばろう東北、がんばろう日本の精神で、復興するだけではなく、さらに発展した岩沼市になることを願っています。



集合写真

北海道、室蘭、函館、釧路、小樽、石狩、恵庭、函館、苦小牧  
(撮影者を含め、全19名)

## 家庭用肥料

### 「土有夢（どーむ）」

下水処理の際に発生する汚泥を有効利用して製造した肥料「土有夢（どーむ）」を販売しています。土有夢は窒素とりん酸を豊富に含んだ良質な有機肥料です。

販売時間 9時～17時(平日のみ)

価格 1袋14kg 100円

販売所・お問い合わせ先

・西部販売所 TEL 72-6581

苦小牧市元町3-5-3

(西町下水処理センター内)

・東部販売所 TEL 52-2325

苦小牧市字勇払16-2

(勇払下水処理センター内)

